



できることから
はじめよう！
環境にいいこと
ひとつずつ

城陽エコパートナー通信

Vol.72

発行日：令和4年(2022年)1月12日
会員数：305人(令和3年12月31日現在)

編集・発行：城陽環境パートナーシップ会議
(事務局) Tel(56)4061 Fax (66)6828

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます

コロナ禍での人々の交流自粛は早2年に及ぼうとしています。ここにきてまた新たな変異株の出現があり、感染症の再拡大が懸念されています。健康は暮らしの土台です。感染症収束に向けてもうしばらくの我慢が続きます。このような社会活動の停滞が余儀なくされるなかにも、昨年11月に城陽市環境フォーラムが第20回記念として継続して開催できましたことは、会員をはじめ関係者各位の活動持続への熱意の賜であると感謝いたしております。

一方で気候変動による干ばつや大型台風の発生、生物多様性崩壊の危機など地球規模の環境変化がじわりじわりと押し寄せています。主な原因は近年の石炭や石油など化石燃料消費の増大による二酸化炭素排出がもたらす地球温暖化です。国連では日本を含む多くの国々が、今世紀半ばには二酸化炭素排出量を実質ゼロ(カーボンニュートラル)にする約束を交わしました。城陽市も2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにするゼロカーボンシティへの挑戦を宣言しました。その実現に向けて市、市民、市民団体、事業者など多様な主体との連携が求められています。「城陽環境パートナーシップ会議」はこの活動の中核に据えられています。

地球温暖化による環境問題はつきつめれば私たち人間の活動がもたらしたものです。この解決には私たちが知恵を出し合い行動を変えなければなりません。「城陽環境パートナーシップ会議」は、これからもみなさまとともに環境問題の解決に取り組んでまいります。そして、一人でも多くの方々のご参加をお待ちしております。

会長 大野和宣

第20回城陽市環境フォーラムを開催しました

文：小林委員

テーマは、「カーボンニュートラルと私たちの暮らし」。当会の記念の節目となるこのフォーラムは、コロナ禍に負けずに絶対に開催するんだという運営委員の総意により、11月27日(土)14時から2時間余、市の公式YouTubeチャンネルでの配信という形で開催をしました。視聴者は169名(12/28現在)。

冒頭、奥田市長が挨拶の中で2050年へ向け、温暖化の原因といわれている「カーボン」を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ宣言」をされました。そして、城陽市観光協会梅林部会のみなさん、当会運営委員の小林駿循環・地球環境部会長、井手邦彦生活・自然部会長、そして大野会長と岡本会員より、「私のカーボンニュートラル宣言」もおこないました。

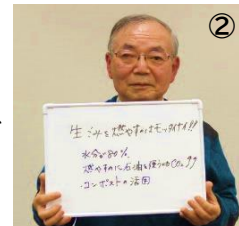
講演1部は、浅利美鈴京大准教授を講師に迎え『「ごみ」から始める暮らしの革命』をテーマに、ご講演いただきました。浅利先生は、環境マンガを描かれているハイムーンこと高月先生に師事され、「ごみ」削減の研究をし、京都市のごみ半減を実現した。その主たる要因はごみ袋の有料化であった、と。食品ロスについて、食べ残しが40%、手つかずや調理くずが40%。家庭廃棄物が800万トン、うち300万トンが食品ロスとして捨てられているという実態にショック！ごみの削減は、販売戦略に左右されない価値観の変革や「私たち人間の心の革命が大事」と「安もの買いの銭失い」とならないようにと締めくくられました。

講演2部、伊藤雅信京繊維大教授を講師に迎え『「クワコ」に学ぶ城陽の自然環境』をテーマに、ご講演いただきました。伊藤先生は、「クワコ」の研究から、生活・自然部会の中川宗孝委員とのつながりや、本市環境基本計画に、現在国際的に叫ばれているSDGsの基本精神が記されている事にふれ、自然環境の先取りに賞賛を示し、城陽は「クワコ」が生息する自然環境に優れていると締めくくられました。

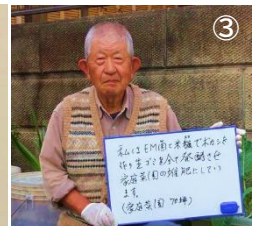
司会の米田氏による、講演内容への的確なコメントと、少し難しいお話も分かりやすい解説により視聴者の理解が促進したことも、大変良かったと思います。終わりに、第20回記念に相応しい、格調高いフォーラムであったと思います。浅利先生、伊藤先生の講演をさらに学習し、市民のみなさんが「ゼロカーボンシティ」へ向け、できることから、いろいろな取り組みを実行して頂ければ幸いです。(写真は「私のカーボンニュートラル宣言」です。①梅林部会のみなさん、②小林部会長、③井手部会長、④大野会長と岡本会員)



① 10年間で9トンの炭素を竹炭にし、土中固定しました。これからはガンバルゾ！



② 生ごみを燃やすのはモッタナイ！生ごみの水分は80%。燃やすのに石油を使いCO₂がたくさん出る。コンポストを活用！



③ 私はEM菌と米ぬかかてボカシを作り、家の生ごみを全て発酵させ家庭菜園の堆肥にしています！



④ 地球温暖化防止で、子どもたちの未来を豊かにしよう！

2021年 第5回グリーンカーテンフォトコンテスト受賞作品を紹介します！

最優秀賞 横田勝年様

タイトル 「2021 JOYOの夏」

設置の効果 コロナ禍の今年も目にも体にも優しかった



優秀賞 並河勝彦様

タイトル
「白いグリーンカーテン」

設置の効果 直射日光の軽減



環境賞 成田奈々様

タイトル
「できることからやってみた」
設置の効果 お日様の光が遮られたように思い部屋が涼しくなったように感じました



城陽の宝もの見つけた！ ぼくのわたしの生きもの作品展を開催しました

文：山村委員

7月3日(土)に実施した「植物・昆虫の標本の作り方教室」の関連事業として12月10(金)～14日(火)に植物や昆虫の標本、観察記録の作品展を実施しました。昆虫標本・植物標本・観察記録等、園児から6年生の児童まで18名の出品者の昆虫標本・植物標本・観察記録等を展示する事ができました。

初めて挑戦した昆虫や植物標本、丁寧に仕上げた標本、長い期間をかけた観察や調査をまとめた力作等、子ども達の意欲や努力の跡が見える作品に感心させられました。

子ども達の感想からは「難しかった」、「大変だった」という感想とともに「一生懸命作った」、「作って楽しかった」、「色々なことがわかったので続けて良かった」等、根気のいる作品作りの中で探究心や充実感を味わい、自然に対する見方が広がった事を感じさせてくれました。講評にはこれからの作品作りへの期待とアドバイスも掲載させていただきました。

子ども達の生活の中で自然に親しみ関わる事が少なくなっている今、採集や標本作りといった活動を体験することで、自然や生き物への興味・関心を高めてほしいと考えています。出品していただいた子ども達の保護者の皆様への感謝とともに、こうした展示を市民のみならずに見ていただけたことで「自然豊かなふるさと」である城陽を再確認していただければ幸いです。



ECO(エコ)とは、Ecology、Economyの頭文字に由来、『安全で豊かな生活をおくる。』との意味合いの言葉です。

2015年に発行された「城陽ecoBOOK」に由来する○×選択クイズです。チャレンジしてみよう!

○か×を書いてね

■ 問題 (問題の内容があっている場合は○、おかしいぞ?と思ったら×を書いてください)

第 1 問

地球温暖化が進むと海水温上昇でサンゴが死滅したり、雪国でりんごが採れなくなったり、マラリアが発生したりします。



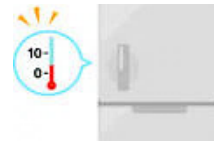
第 2 問

エアコンの夏の冷房温度は26℃に冬の暖房温度は22℃にする。外気温との差は5℃あれば十分。特に冬場は衣類でも調節しましょう。



第 3 問

冷蔵庫に食品を詰め過ぎず、ドアの開閉を極力少なくし、室温設定温度も夏季は「強」、冬期は「中」を選びましょう。消費期限、賞味期間にも注意しましょう。



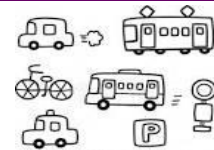
第 4 問

ゴミの量を減らすには、レジ袋は断る(リデュース)、壊れたものを修理して大切に使う、使わなくなったものをバザー等に出す(リユース)、使い終わったらもう一度資源になるものを回収等に出す。(リサイクル)これを3Rと言います。



第 5 問

車両の急発進・急ブレーキは、燃料の無駄です。距離を詰めて走行すると渋滞が解消します。移動は公共機関を使用。近くへは、徒歩や自転車にしましょう。



第 6 問

野菜の加熱は茹でるより電子レンジを使用する方が省エネです。炊飯器に残ったごはんは、そのまま炊飯器で保温しておきます。



第 7 問

洗濯ものは少量で頻繁に洗うより、まとめ洗いをすると、電気、水、洗剤の節約にもなります。乾燥はできるだけ、自然乾燥を心掛けましょう。



第 8 問

掃除機でフローリングや畳のゴミを取る量は、「強」でも「中」でもほぼ同じです。平らな床面清掃は、「弱」で掃除すると「強」で掃除した時に比べ、約10%も省エネです。



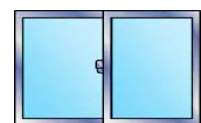
第 9 問

入浴は、家族各自が都合の付く時間を見つけて入りましょう。お風呂のふたを閉めて湯が冷めないようにしましょう。



第 10 問

室内の冷暖房熱は、冬は71%、夏は48%の熱が窓から逃げて行きます。冬は二重窓や厚手のカーテン、夏は外側にすだれやグリーンカーテンが効果的です。



※正解○、×については最終ページにあります。

あなたは
何問できた
かな?



イベント Information

自然観察会を開催します！

- ◇開催日：令和4年2月5日(土)
- ◇集合場所・時間：北部コミセン駐車場 9時集合 12時解散
- ◇観察場所：古川流域
- ◇内 容：古川流域での野鳥観察会と美化活動
※雨天中止(判断しかねるときは、当日8時30分～8時45分に問合せ)
- ◇対 象：市内在住、在学、在勤の人(小学生以下は保護者同伴)
- ◇参加費：無料
- ◇講 師：脇坂英弥氏(環境生物研究会)・岡井勇樹氏(環境生物研究会)
- ◇持ち物：水筒・タオル・帽子・城陽生きものハンドブック(お持ちの方)
※当日はマスクを着用し、動きやすい服装で防寒対策をした上でご参加ください
- ◇申・問：城陽環境パートナーシップ会議へ
直接か電話(56-4061)
※1月17日(月)より受付開始



今年もコウノトリの飛来を期待！
目撃情報をお待ちしております(事務局 56-4061)

城陽 ECO クイズの答え

問題	回答	正解・解説	問題	回答	正解・解説
問1	○	地球温暖化の影響は気温が上昇するだけではなく、すでに気候が大きく変化し、自然環境や人の暮らしに重大な影響を引き起こしている。	問6	×	炊飯器に残ったごはんは、小分けにして冷凍保存をし、食べる分だけ「チン」をする。
問2	×	エアコンの夏の冷房温度は28℃に冬の暖房温度は20℃にする。	問7	○	洗濯ものはできるだけまとめ洗いをすれば、電気、水、洗剤の節約になります。お風呂の残り湯を使えばさらに、水の節約になる。
問3	×	室温設定温度も夏季は「中」、冬期は「弱」を選ぶ。	問8	×	平らな床面清掃は、「弱」で掃除すると「強」で掃除した時に比べ、約25%～33%も省エネ。
問4	○	3Rとは、3つのRの総称。 廃棄物の発生を少なくする Reduce(リデュース) 繰り返し使用する Reuse(リユース) 廃棄物の有効利用 Recycle(リサイクル)	問9	×	入浴は、間を空けずに続けて入る。
問5	×	車間距離を取りゆっくり走り走ると渋滞が解消する。	問10	×	室内の冷暖房熱は、冬は48%、夏は71%の熱が窓から逃げて行く。

日本観光ゴルフ株式会社
城陽カントリー倶楽部
〒610-0121 京都府城陽市寺田奥山1-46

株式会社 城南工建
〒610-0113 京都府城陽市中芦原27番地の1
TEL 0774-53-3939 FAX 0774-55-1172

株式会社 ミズホ
砥石で、未来を磨いてゆく
〒610-0121 京都府城陽市寺田袋尻82番地

東城陽ゴルフ倶楽部
〒610-0113 京都府城陽市寺田奥山1-48
TEL 0774-52-1161

次の団体・個人から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

近畿砂利協同組合、京都城陽ロータリークラブ、サントリープロダクツ(株)宇治川工場、(株)城南工建、城陽市、城陽商工会議所、城陽金融会、星和電機(株)、(株)玉井開発、日本観光ゴルフ(株)城陽カントリー倶楽部、東城陽ゴルフ倶楽部、(株)平和堂アル・プラザ城陽、(株)ミズホ、森澤博光 ※令和3年12月末現在(五十音順・敬称略)